

高野新聞

Vol.75



たかの
高野 たけし
無所属 41歳

返子市議会議員（4期）

- ・議会運営委員会委員長
- ・議会活性化推進協議会会長
- ・教育民生常任委員会委員
- ・基地対策特別委員会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

6月5日～19日の日程で、平成26年第2回定例会が開催されました。今定例会においても市民の皆様から頂いたご意見をもとに一般質問を行いました。（以下に一部掲載）

◆財源確保策の確立がポイント

昨今、我が国の人口減少を危惧する報道が特に増えてきています。こうした将来の人口減少の見通しは本市においても例外ではなく、30年後には人口が46,000人を割り、高齢化率は46%を超えるとの推計も出されています。人口減少、高齢化が進めば、本市の根幹をなす個人市民税の減収にも直結します。

そこで、こうした状況をどのように捉えているのか、またどのようなビジョンを持って財政対策に取り組んでいくのか市長に質したところ、長期的に現在の人口を維持できるよう生産年齢人口の転入増を目指すとの回答がありました。その一つとして、子育て支援策の拡充などに努め、女性の社会進出をサポートしていきたいとのことでした。

また、歳入の減収を食い止める施策を展開していくことはもちろんですが、歳出を削減していく必要もあるため、事業仕分けの制度構築、実施を提言しました。これに対しては、来年度が初年度となる総合計画とリンクさせる形で、市民参加による事業仕分けを行っていく旨の回答が市長よりありました。

税収入の確保、さらには財政の硬直化の改善など、本市の抱える財政課題の解決に向けては、引き続き議員の立場で取り組んでいきたいと思えます。

返子市の人口推計

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
人口	57,659人	56,290人	54,472人	52,326人	50,001人	47,856人	45,762人
生産年齢割合	57.2%	56.9%	56.9%	55.1%	51.8%	47.6%	45.1%
高齢化率	31.5%	33.0%	34.1%	36.6%	39.9%	44.1%	46.6%

※人口推計は、その集団ごとの時間変化（出生、死亡、移動）を軸に人口の変化をとらえるコーホート要因法にて算出されたもの。
生産年齢は15～64歳、高齢化率の基となる老年人口は65歳以上。

政治資金の残り あと 43,874円

(3/1～5/31の内訳)	収入…給与から	250,000円
	支出…新聞折り込み代	61,078円
	ポスター	147,000円
	看板用写真シール	25,200円
	ポスター用広報版・両面テープ	11,306円

◆除雪車両を出動要請

本年2月に2週続けて記録的な大雪となり、市民の方から生活に支障をきたしているとの連絡が私のところにも複数届きました。特に高いところに住宅がある高齢者からは、生活道路として使っている坂道が積雪により公共バスの通行もままならいだけでなく、福祉車両にも来ていただくことができなかったとの話もありました。

そこで、高台の住宅地で生活のメイン道路として使われている場所においては、大雪時に除雪車両を出動させる対応をしていくべきと考え行政当局に提案したところ、市内の事業者と協力体制を確立し、いざという時に対応できるように準備しておくとの回答がありました。また、除雪対象道路の基準づくりと優先順位の設定も合わせて行っていくとのことでした。

地震に限らず、様々な状況を想定した災害対策の強化は今後も進めていかなければならない課題であると考えています。

◆ゴミ対策できれいな海岸に

毎年海水浴場開設期間中においては放置ゴミが多く発生しているだけでなく、ゴミ箱周辺にも入りきらないゴミがあふれている状態です。

放置ゴミに関してはいくつかの団体がクリーンキャンペーン等を行い回収しているものの、特に週末においてはそれでも回収しきれないゴミが砂浜に散乱している状況にあるため、対応策を講じるべき旨提言したところ、ゴミ箱の増設等を含め放置ゴミの削減に努めるとの回答がありました。

また、ゴミ箱周辺にゴミがあふれている件に関しては、特にゴミの多い週末は朝・夕2回の回収（現在は朝1回の回収）を行うよう提案したところ、自区内処理で実施できる方法を検討していくとのことでした。



どーなっているの？

市民の皆様からいただいた、ご意見・ご要望にお答えするコーナーです。

Q1: 神武寺駅にも図書館の本を返却するブックポストを設置していただけないでしょうか？

現在は図書館の他、沼間公民館、小坪公民館、JR逗子駅、JR東逗子駅に設置されています。

今後設置数を増やすことで利便性が上がり、ひいては図書館利用率(本の貸出数)の増加にもつながる可能性があると考え、担当所管に神武寺駅への設置を要望したところ
です。



Q2: 鎌倉市で作成している防災読本が良くできているので、逗子市でも参考にしたいのでしょうか？

私も早速鎌倉市で防災読本をもらってきました。

34ページからなるこの冊子には地震、津波、風水害、土砂災害への備え、災害発生時の対応に加え、各ハザードマップ(津波、洪水・内水、土砂災害)や避難所マップ、海拔マップ、液状化想定マップなどが掲載されています。マップを多く使用することで、視覚的わかりやすさの高い冊子になっていると感じたところです。

逗子市でも平成22年度に防災ハンドブックを作成し、市民の方々には配布済みとなっています。これには各種災害への備えや対応、また避難所の住所などが記載されており非常にわかりやすい内容となっていますが、各種マップまでは掲載されておりません。

そこで、別に作成している津波ハザードマップ、土砂災害ハザードマップにおいても、鎌倉市のように一冊にまとまっているほうが確認しやすく、保管もしやすいのではと考え、津波、土砂災害のハザードマップに加え、避難所マップなどの各種マップを改定時に「防災ハンドブック」に掲載すべき旨、担当所管に要望させていただきました。



あなたの声を高野たけしへ

- お名前:
●ご住所: 〒
●連絡先 E-mail:
お電話:



市政クラブ 高野 たけし
Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp

Topics

ー 昨年(2010年)の11月に平塚市が災害時の情報発信に関して「Yahoo! JAPAN」と協定を結んだことを知り、本市でも同様の取り組みを行うべき旨防災課に提案してまいりましたが、今年度から協定が結ばれることになりました。

協定締結により、災害時に市のホームページにアクセスが集中し閲覧することが困難になった場合、「Yahoo! JAPAN」が複製したサイトに誘導しアクセスの分散を図ることでスムーズな情報提供が可能になります。また、「Yahoo! JAPAN」の地図上に市内の避難所や津波避難ビルの位置情報が掲載される他、災害時には緊急情報や被害状況、ライフラインに関する情報なども随時掲載されることとなります。

現在、本市では災害関連情報をメールで配信する「地域安心安全情報共有システム」を運用しており、すでに1万人を超える登録者に活用されていますが、今回の取り組みによりさらに災害時の情報提供力が高まるものと期待しております。